

## 第8回

[日 時] 平成26年9月20日（土）18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学 2号館 2階2206教室

[テーマ] ガーナが私にくれたもの

[講 師] 本田 美希子氏（石巻市立二俣小学校 教諭）

[使用したテキスト]

- ・『耕人』H26\_6.pdf（塾長から塾生へのメッセージ：第6号）

[活動内容詳細]

教室に入るときには、大きな声であいさつをするよう心掛けてほしい。宿泊学習で学んだこととして、『自然の営みを素直に受け入れる』『マイナスがプラスに変わることがある』という体験をした。悪天候やハプニングにも、方法を変えみんなで協力して乗り越えた経験が、今後生きていてほしい。

### 講話「ガーナが私にくれたもの」

講師 本田美希子氏（石巻市立二俣小学校教諭）

私事旅行で訪れたベトナム、カンボジアで、「自分にも何かできないだろうか」と思い、青年海外協力隊に所属し、3年前ガーナに赴いた。今回は、その当時、親交を集めたガーナの友と会うために訪問した。

ガーナの電車から状況（駅がないこと、座席以外の所に乗車している様子等）や車窓（駅が近いところにできた市場の様子など）で生活環境を概括した後、学校の様子をビデオで見せてくださった。朝の会には、必ず国歌を歌うこと。就学年齢は決められているものの、子どもも重要な労働力とみなされ、日本のように同年齢で学年が構成されているわけではないこと。授業では、答えのみ教えて、日本のように計算の仕方を教えない。間違った場合の体罰もあり、正しい答えだけを求められているので、発言量も少ない。カンニングも多い。そこで、ガーナの先生方に、是非指導法を学んでほしいと考え、自作の教具などを使って、イメージとしても分かりやすく指導法を工夫して授業に臨むが、現地の先生方は帰ってしまう。子どもたちは、理屈のかなった方法で教えられるのでわかりやすく、本田先生の授業を楽しみにして待ち望んでいる子も増えてきた。



しかし、ガーナの人々は、厳しい条件のもとで生きていて、ホームステイでお世話になった家は現地の中流以上であったが、トカゲや多くの虫が生息していて、停電も当たり前。さらに、水は、バケツ一杯が、一日の一人分の使用として決められている。乾季には、水まったくなくなってしまう、学校の子

どもたちに水汲みをお願い事態も生じてしまった。



ガーナの人々は、誰にでもあいさつし、話しかける、とてもフレンドリーな気質であり、日本に戻りたいという気持ちを断ち切るエネルギーになった。数人の人に、まとめてあいさつすることは、日本では当たり前行為ではあっても、ガーナには通じない。写真にある通りを抜けるだけでも、何十人ものガーナ人一人一人にあいさつを交わす。実は、あいさつ程度の簡単な会話が、ガーナ人との交流が、信頼関係を作り上げていった。この当時培った人間関係から、「また、会ってみたい。」「〇〇おばちゃん、どうしているだろう。」という気持ちが、今回の訪問につながった。

この青年海外協力隊の体験を通して、『相手を受け入れる難しさ』『チャンスは無限にある』『幸せとは何か?』ということを知り、考え直す機会を得た。ガーナの子供たちは、未だ学ぶ機会が限られ、困難な状況である。日本の子供と同じように、「大人になったら、パイロットや弁護士になりたい。」という夢を抱いているものの、日本の子供より実現の可能性は低い。日本には、チャンスがたくさんある。恵まれた環境にあると考える。

「ガーナ人の幸せとは何か」「日本人にとっての幸せとは何か」「本当の幸せとは何か」ということを、今回の講話を通じて考えてほしいというメッセージを残し終了した。



## 班別討議

### 塾生の発表

- ・班別討議のほとんどの時間展示を見る時間に使った。興味深い展示品が多かった。
- ・日本より恵まれていないが、人とのコミュニケーションが取れている。ガーナは、学校に行きたくとも行けない子が多い。日本は、行かされている人が多い。物ではなく、人とのかかわり、相手を受け入れる・思いやる心が、幸せではないか。
- ・人と関わることは、最初怖い気がする。同じ時間を共有することで、つながりができ始める。日本できライフラインが整っているが、ガーナには不足している。しかし、人とのかかわりを大切にすることで補い、かかわりの豊かさで、幸せを感じているのではないか。



### 班別活動

- ・ 活動後の周辺環境・住民反応の情報交換。
- ・ ゴミ拾いやあいさつ運動を意図的に継続していく必要性と拡充していく手だてなどについて交流。
- ・ 個人でできることと集団として行うことの意義について意見交換。
- ・ 活動後のまとめと石巻のよさを発信するための方策について交流。



### メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

第1回

第2回

第3回

第4-5回

第6-7回

第8回

第9回

第10回

第11回 平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞